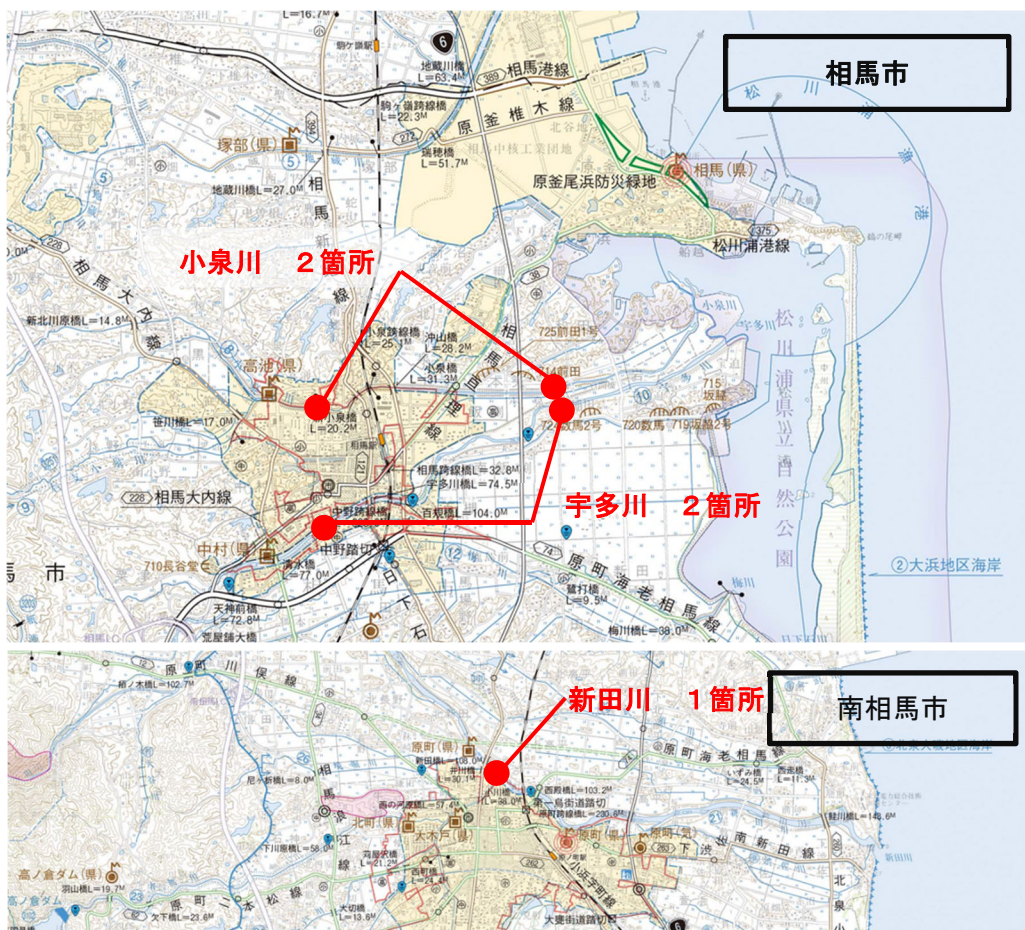




令和5年12月15日  
福島県相双建設事務所

## 台風第13号における国土強靱化事業の効果を紹介します。

下記の3河川5箇所について、  
台風第13号における国土強靱化事業\*の効果を紹介します。  
小泉川（相馬市）、宇多川（相馬市）、新田川（南相馬市）



### 【国土強靱化事業の概要】

近年、平成30年7月豪雨や令和元年東日本台風など、毎年のように発生する大規模被害を受け、全国的に展開される「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等により、河川改修事業の推進や堤防補強等による氾濫対策、河川合流部等の河道掘削及び伐木、砂防えん堤の整備など水害・土砂災害の予防対策に取り組む事業です。

【問い合わせ先】 相双建設事務所 企画管理部長 原 弘通  
電話 0244-26-1202(直通) F A X 0244-26-1197

# 台風第13号における国土強靱化の効果検証

## 【観測局 小泉川（高池）】



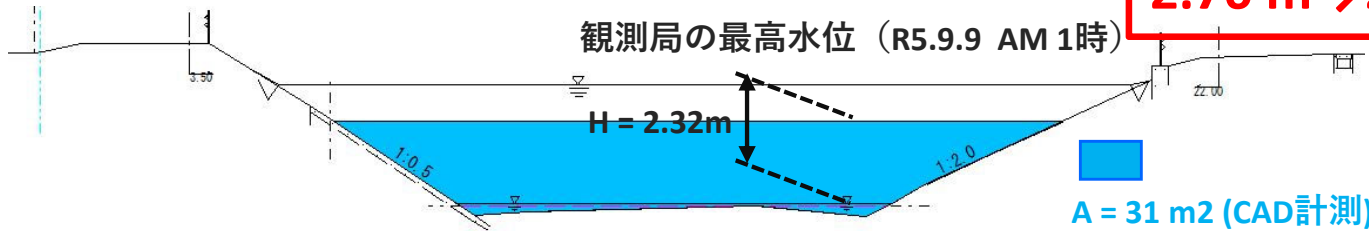
小泉川

河道掘削により、  
**約0.7 m 水位が低下した。**

水位が避難判断水位以下になる効果  
を得た！

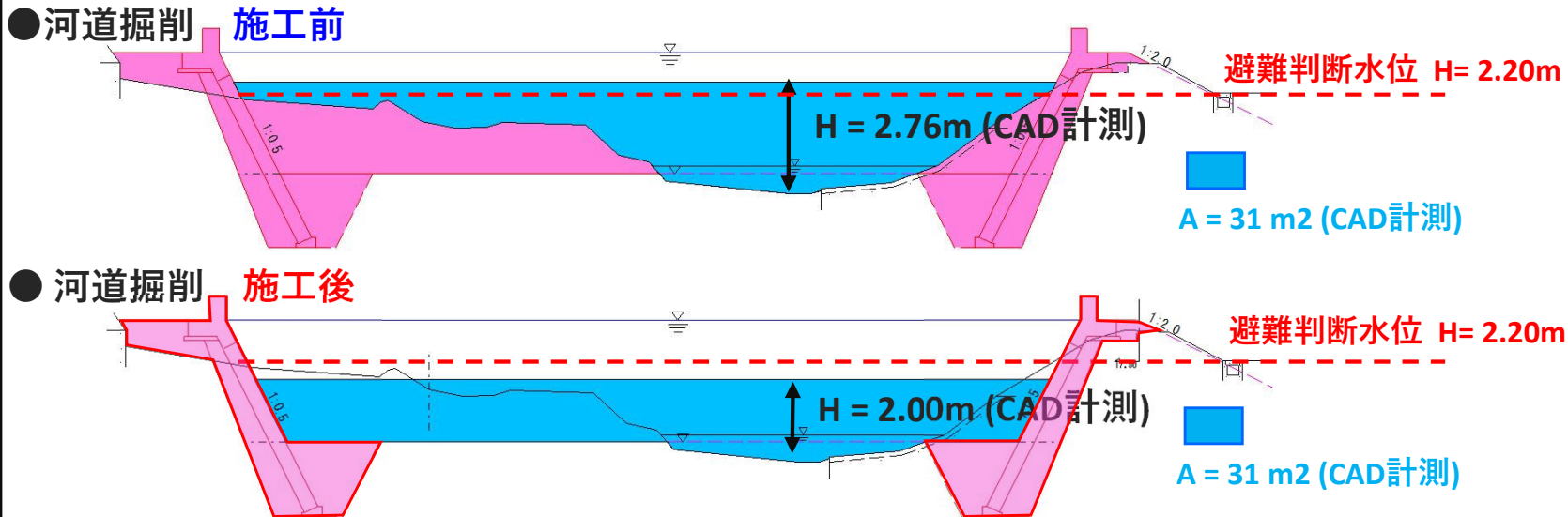
**2.76 m → 2.00 m (< 避難判断水位 2.20 m)**

### 【観測局の近傍測点 NO251】



観測局の最高水位から断面積を算定し、その面積を河道掘削した評価断面に流した場合の水位を計算した。

### 【評価断面 NO.215】



観測局名	高池
河川名	小泉川
最高水位 (R5.9.9 AM 1時)	2.32
計画高[m]	3.00
氾濫危険[m]	2.56
避難判断[m]	2.20
氾濫注意[m]	1.90
水防団待機[m]	1.40

水位が避難判断水位以下になる効果を得た！ **2.76 m → 2.00 m (< 避難判断水位 2.20 m)**



# 台風第13号における国土強靱化の効果検証

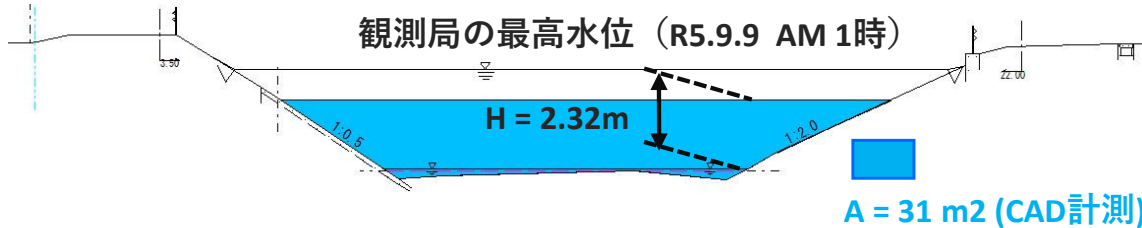
## 【観測局 小泉川（高池）】



河道掘削により、  
**約0.4 m 水位が低下した。**

**水位が水防団待機水位以下になる  
効果を得た！**  
**1.43 m → 0.98 m (< 水防団待機水位 1.4 m)**

## 【観測局の近傍測点 NO251】

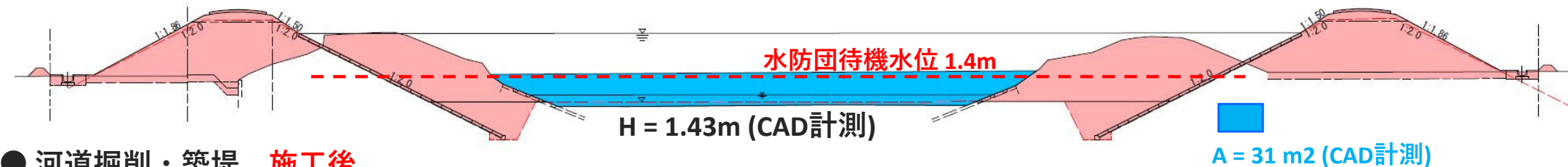


観測局の最高水位から断面積を算定し、その面積を河道掘削した評価断面に流した場合の水位を計算した。

観測局名	高池
河川名	小泉川
最高水位 (R5.9.9 AM 1時)	2.32
計画高[m]	3.00
氾濫危険[m]	2.56
避難判断[m]	2.20
氾濫注意[m]	1.90
水防団待機[m]	1.40

## 【評価断面 NO.95】

### ●河道掘削・築堤 施工前



### ●河道掘削・築堤 施工後



**水位が水防団待機水位以下になる効果を得た！ 1.43 m → 0.98 m (< 水防団待機水位 1.4 m)**

# 台風第13号における国土強靱化の効果検証

## 【観測局 宇多川（中村）】

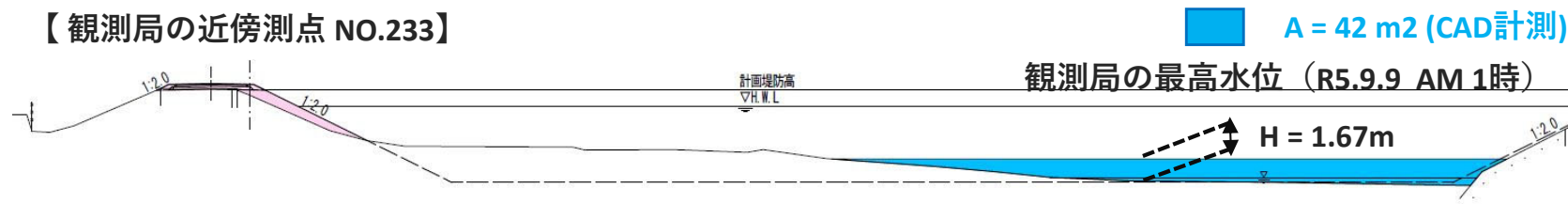


河道掘削により、  
**約0.2mの水位低下の効果**  
が得られた

観測局の最高水位から断面積を算定し、その面積を河道掘削した評価断面に流した場合の水位を計算した。

観測局名	中村
河川名	宇多川
最高水位 (R5.9.9 AM 1時)	1.67
計画高[m]	4.80
氾濫危険[m]	3.40
避難判断[m]	2.70
氾濫注意[m]	2.30
水防団待機[m]	1.30

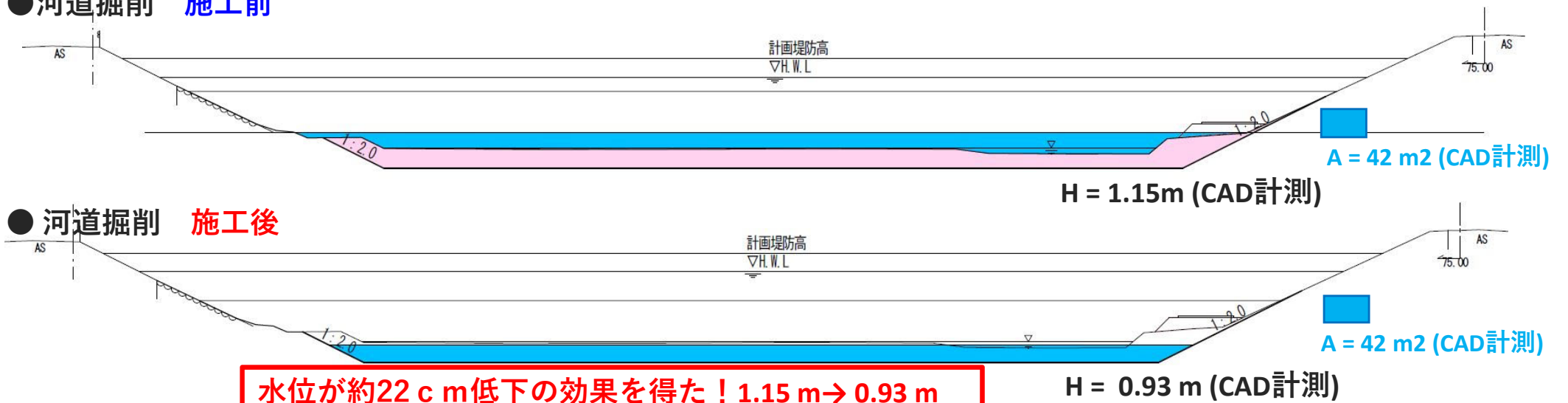
## 【観測局の近傍測点 NO.233】



## 【評価断面 NO.190】

●河道掘削 施工前

●河道掘削 施工後



# 台風第13号における国土強靱化の効果検証

## 【観測局 宇多川（中村）】



河道掘削により、  
**約 1.2 m 水位が低下した。**

**水位が水防団待機水位以下になる効果を得た！**  
**2.20 m → 0.98 m (< 水防団待機水位 1.3 m)**

## 【観測局の近傍測点 NO.233】

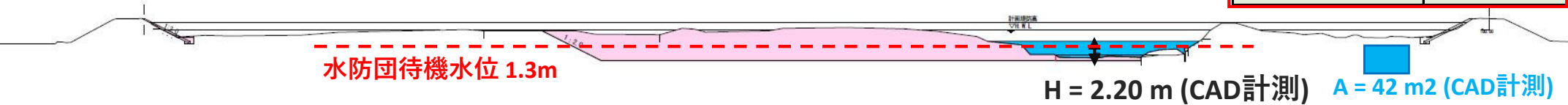
観測局の最高水位から断面積を算定し、その面積を河道掘削した評価断面に流した場合の水位を計算した。



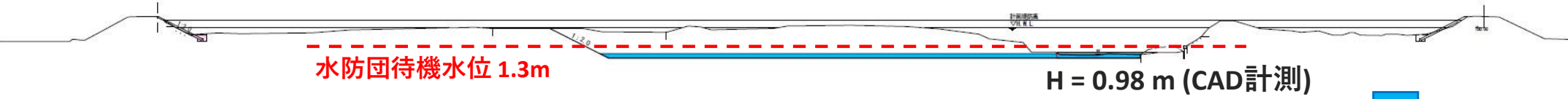
観測局名	中村
河川名	宇多川
最高水位 (R5.9.9 AM 1時)	1.67
計画高[m]	4.80
氾濫危険[m]	3.40
避難判断[m]	2.70
氾濫注意[m]	2.30
水防団待機[m]	1.30

## 【評価断面 NO.36】

●河道掘削 施工前



●河道掘削 施工後



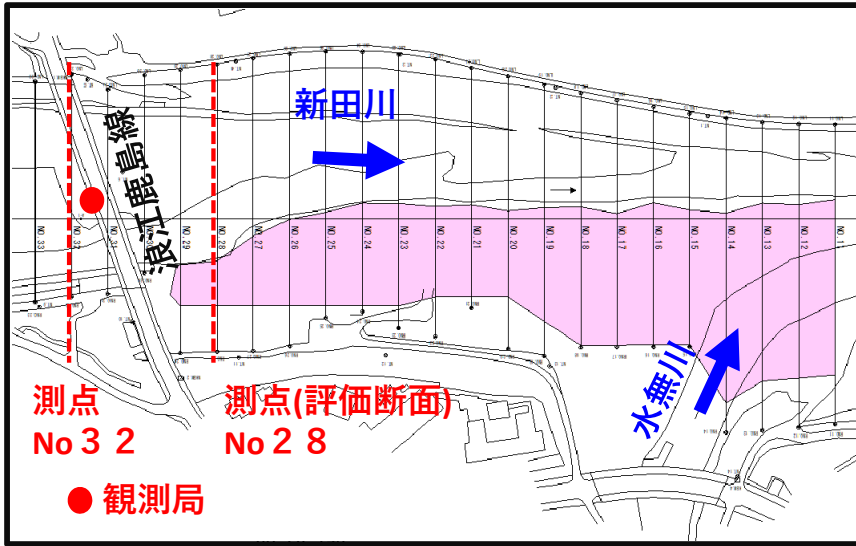
**水位が水防団待機水位以下になる効果を得た！ 2.20 m → 0.98 m (< 水防団待機水位 1.3 m)**

A = 42 m² (CAD計測)



# 台風第13号における国土強靱化の効果検証

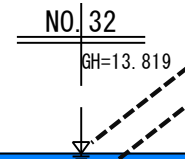
## 【観測局 新田川（原町）】



観測局名	原町
河川名	新田川
最高水位(R5.9.9 AM 1時)	2.49
計画高[m]	3.51
氾濫危険[m]	4.00
避難判断[m]	3.50
氾濫注意[m]	2.10
水防団待機[m]	1.30

河道掘削により、  
**約0.3mの水位低下の  
効果が得られた。**

### 【観測局の近傍測点】



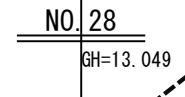
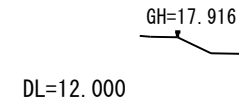
観測局の最高水位  
(R5.9.9 AM 1時)  
H = 2.49m

観測局の最高水位から断面積を算定し、その面積を河道掘削した評価断面に流した場合の水位を計算した。

A = 204 m<sup>2</sup> (CAD計測)

### 【評価断面 NO.28】

●河道掘削 施工前



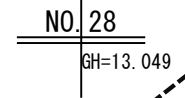
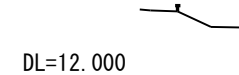
H = 2.96m (CAD計測)

C=55.4

GH=19.155

A = 204 m<sup>2</sup> (CAD計測)

●河道掘削 施工後



H = 2.64m (CAD計測)

GH=19.155

A = 204 m<sup>2</sup> (CAD計測)

水位が約30cm低下の効果を得た！ 2.96m → 2.64m